

# 「わかる授業」通信

～すべての子にわかる楽しさ、できるよろこびを～

平成30年11月22日

神社小学校 わかる授業担当

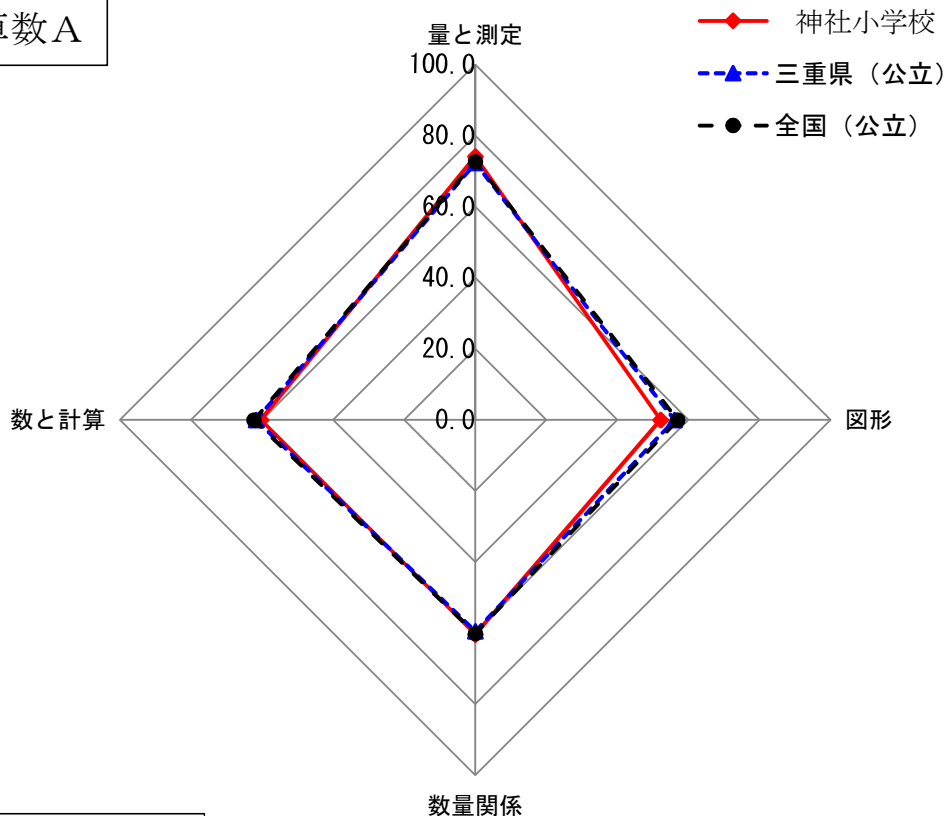
第3号

## 全国学力学習状況調査の結果からわかる成果と課題について

4月に6年生を対象に実施された「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果について、成果と課題をしっかりとらえ、今後の子どもたちの学力向上に積極的に努力したいと思います。

問題には、「基礎基本の力」を確かめるA問題とAをもとに活用したり応用する力をみるB問題があります。

### 算数A



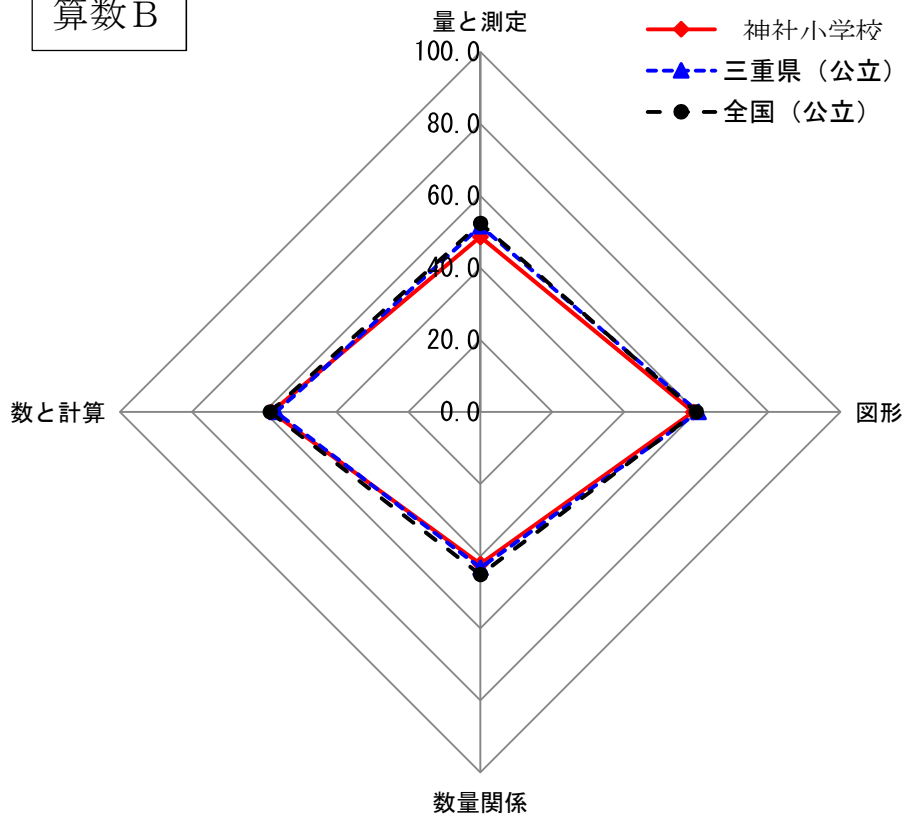
### 間違いの多かった問題

#### 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を全て選ぶ。

1. 1mの重さが12kgの鉄の棒があります。この鉄の棒0.8mの重さは何kgですか  
→  $12 \times 0.8$
2. 0.8Lで板を12㎡ぬることができるペンキがあります。このペンキ1Lでは、板を何㎡ぬることができまうすか。→  $12 \div 0.8$
3. 赤いテープの長さは12cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。→  $12 \times 0.8$
4. 長さが12mのリボンを0.8mずつ切っていくきます。0.8mのリボンは何本できますか。→  $12 \div 0.8$

答えは「2と4となります。この問題は3・4・5年生の学習内容で、小数の除法の意味について理解しているかどうかをみる問題で、除法の意味について理解していないとできません。

## 算数B



算数B問題においては、

- ・示された考えを解釈し、他の数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断する。  
(数学的な考え方・記述式 正答率 本校 41.8% 全国 47.9% )
- ・折り紙の枚数が 100 枚あれば足りる理由を、示された数値を関連付け根拠を明確にして記述。(数学的な考え方・記述式 正答率 本校 36.4% 全国 43.2% )

算数A・Bどちらも、よくできているところもあります。算数A問題の「量と測定」・B問題の「数と計算」がよくできていました。その中で間違いが多かった問題から、①問題文の読み取ること、②問題に対する答えを正確に導いて解くことが苦手な傾向が読み取れます。

ただ、昨年度より無解答率が減り、全国との差も少し縮まりました。初めからあきらめるのではなく、チャレンジする意欲が日頃の取り組みで育っている証です。自分の考えを文章にまとめたり、書いてある内容を読み取って要約したり、書く力をつけていく必要があります。正答率については年度によって変動があり今年の結果が必ずしも学校全体の学力の傾向を表しているわけではありません。

### 最後に・・・

全国学力学習調査の問題は、6年生で学習する内容ではなく、1年生から5年生までの学習の定着を測るものです。基礎・基本の学力をそれぞれの学年でつけ、それをもとに学びを高めていくことが大切です。

ご家庭でも本校の「家庭学習の手引き」をよく活用していただき、家庭学習も充実させていきましょう。また、現在の学習についてはノートを見ていただくと多少判断できると思います。

次号は、「理科」について、お知らせします。